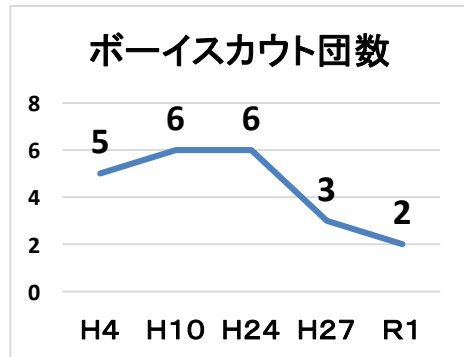
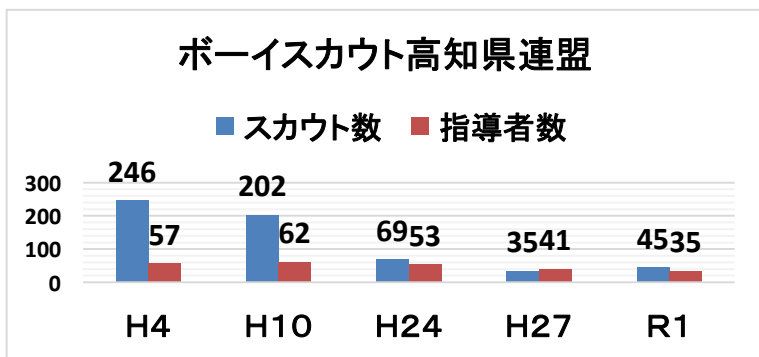


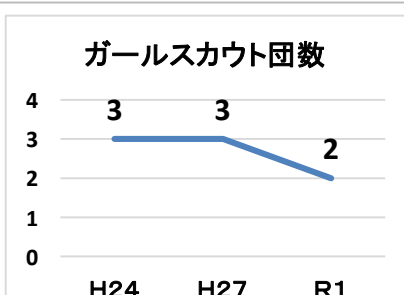
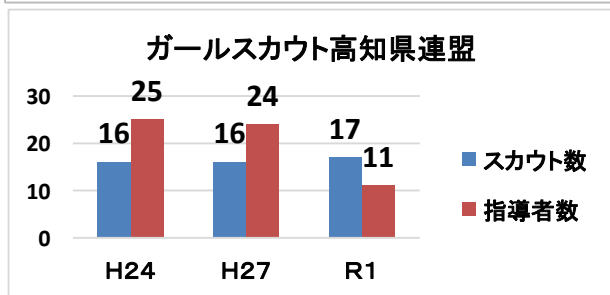
社会教育資源の現状と課題

1) 社会教育関係団体について

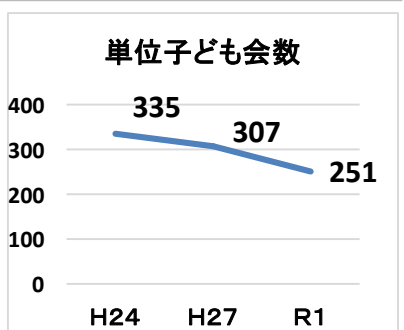
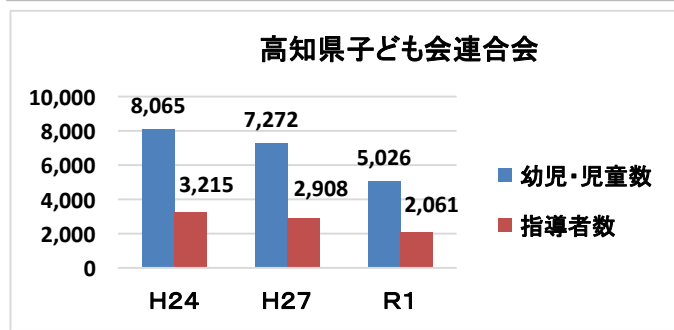
①主に児童・生徒で構成されている団体



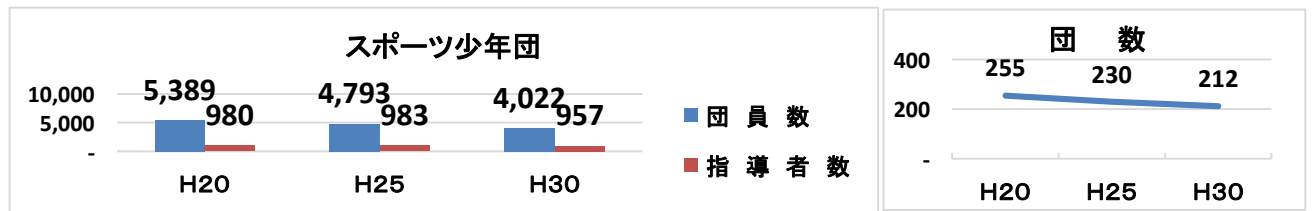
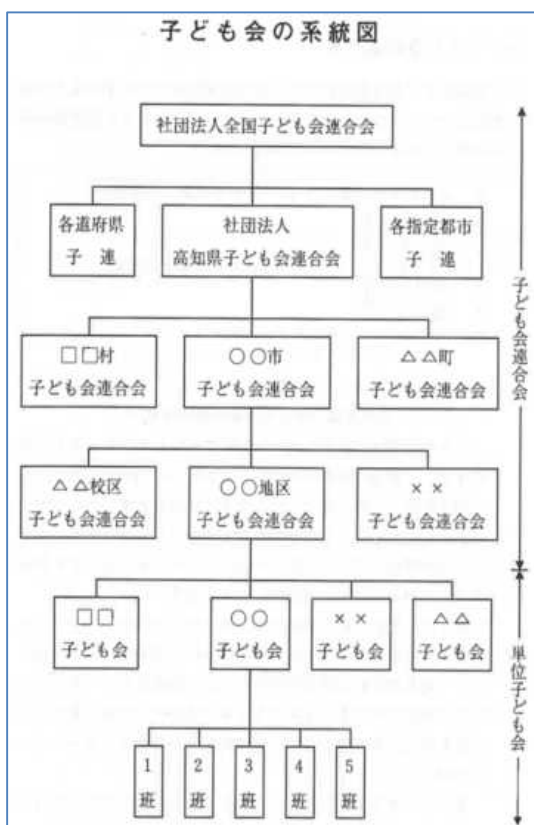
ボーイスカウト高知県連盟(平成18年度まで県の補助金あり)
 ・四万十市と高知市に1団ずつ
【組織拡大のための動き】
 ・「高知ボーイスカウトの活動を応援する1000人委員会」発足(H31.3.1) ・説明会(3.23)、体験イベント(3.24)、体験入隊(4.7)
【厳しい環境にある子どもへの対応】
 ・養護施設の隊、障がいのある青少年等を対象とした隊は日本連盟登録料が減免となる。対象:中村第1団(四万十市)
 ・「ともに進もう(ひとり親家庭等応援)助成プログラム」(H28~)
 経済的な理由によりスカウト活動が困難なひとり親家庭のスカウトへの助成金年額3万円/1人。H30:70名(高知県0名)
 (書き損じハガキ、使用済み切手等の回収から得た資金を充てている。)



ガールスカウト高知県連盟(平成18年度まで県の補助金あり)
 ・香美市と四万十町に1団ずつ 高知市の団は活動休止中
【組織拡大のための動き】
 ・フェイスブックの開設投稿 ・地元ラジオ局への出演広報 ・ライオンズクラブ等の他団体との連携
【厳しい環境にある子どもへの対応】
 ・養護施設の隊は日本連盟登録料が減免となる。対象:高知第1団(香美市)

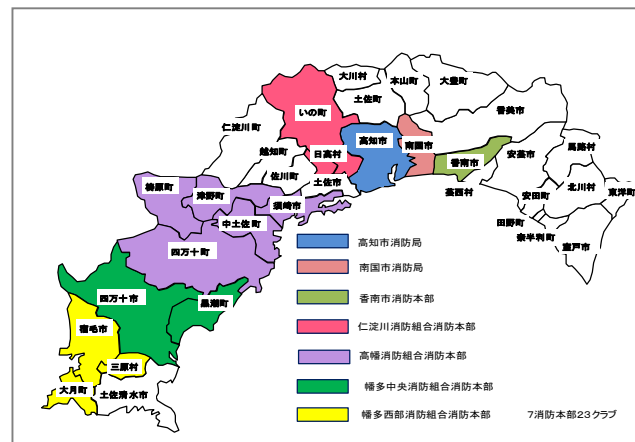


高知県子ども会連合会(平成19年度まで県の補助金あり)
 ・JL(ジュニアリーダー)登録市町村 高知市2名(中学1、高1) 安芸市8名(中学4、高4) 南国市6名(中学4、高2)
【厳しい環境にある子どもへの対応】 なし



スポーツ少年団
 ・高知県市町村体育会連合会や高知県小学校体育連盟などをはじめ、県内58団体の様々な競技の協会、連盟などが所属
【加盟条件】
 ・団員10名以上(20歳未満の青少年)、指導者2名以上

少年消防団(7消防本部23クラブ)

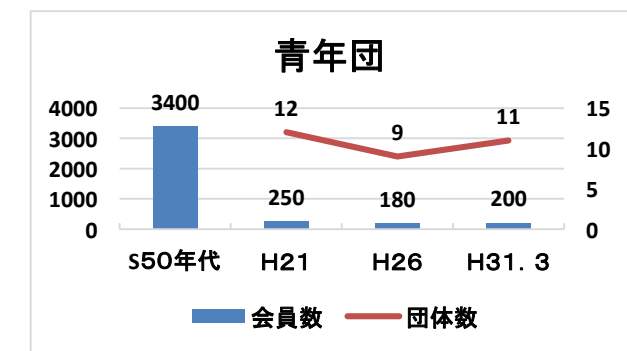
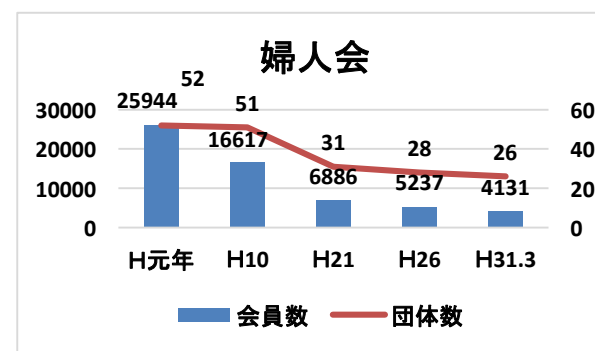


※小学校単位で構成されている市町村もある

②主に成人で構成されている団体

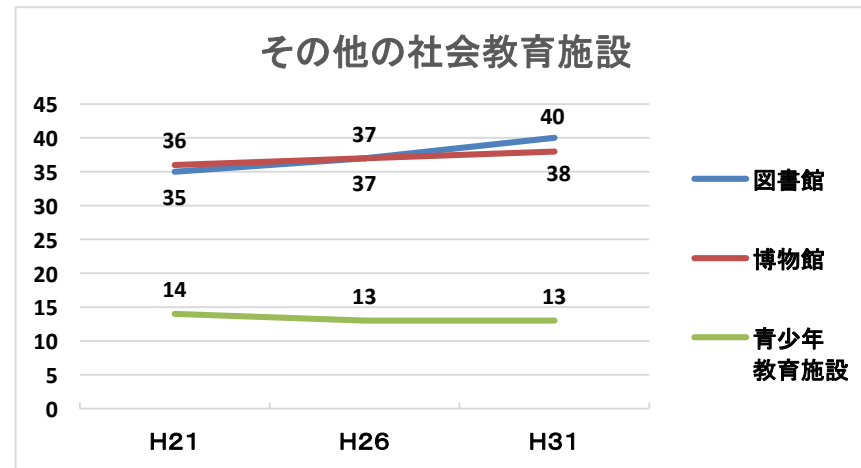
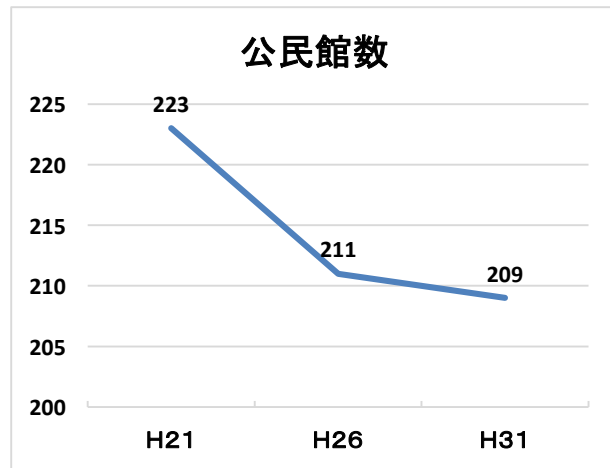
	会員数	単P・園P	加盟率(%)
高知県小中学校PTA連合会	46,442名	277校	100%
高知県高等学校PTA連合会	13,327名	46校	100%
高知県国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会	863名	15園	79%(※)

※非加入団体は保護者会を形成している



現状と課題
 ●指導者・役員の高齢化及び固定化
 ●会員数の減少による組織の弱体化
 ●新規指導者や新規役員確保の困難
 ⇒ 地域での横の繋がりの脆弱化

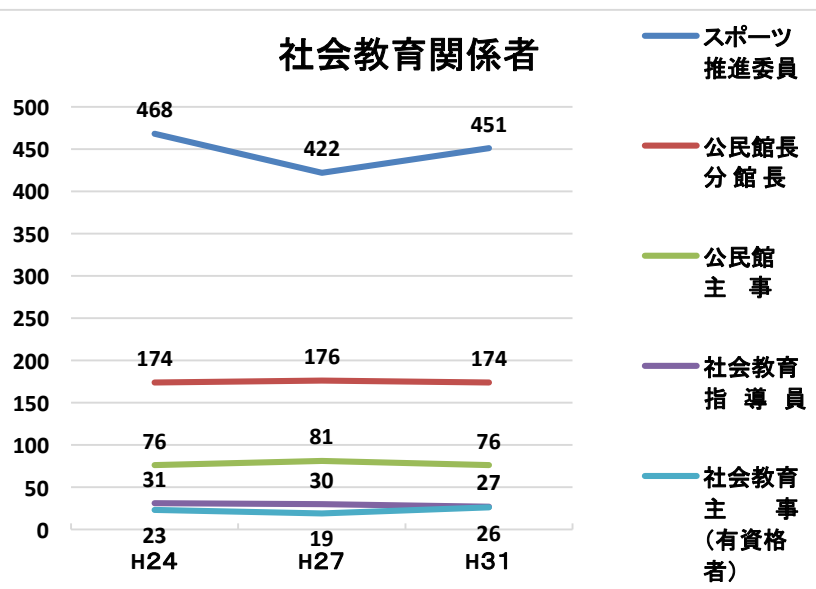
2) 社会教育施設について



現状と課題

- 新設された施設がある一方で、10年間で10館以上公民館が閉館している
 - ⇒ 公民館の老朽化
 - ⇒ 8町村で条例公民館が設置されていない(奈半利町、田野町、馬路村、芸西村、土佐町、大川村、津野町、四万十町)

3) 社会教育関係者について



地域教育指導主事の市町村への派遣(「土佐の教育改革」の事業の一環としてH9~17年度) ※加配教員への対応のため派遣中止 H11年度から全市町村へ53名派遣

市町村別社会教育指導員数(平成31年4月現在)
 安芸市…1名 香南市…4名 香美市…3名
 南国市…6名 本山町…1名 越知町…1名
 四万十市…2名 黒潮町…2名 高知市…7名
 計27名

市町村別社会教育主事有資格者数(平成31年4月現在)
 室戸市…1名 馬路村…2名 香南市…3名
 香美市…2名 本山町…1名 土佐町…3名
 いの町…1名 越知町…4名 津野町…1名
 中土佐町…3名 四万十町…1名 宿毛市…1名
 高知市…3名 計26名(発令2名:本山町1名、越知町1名)

※香南市、香美市、本山町、越知町、高知市はいずれも設置されている。

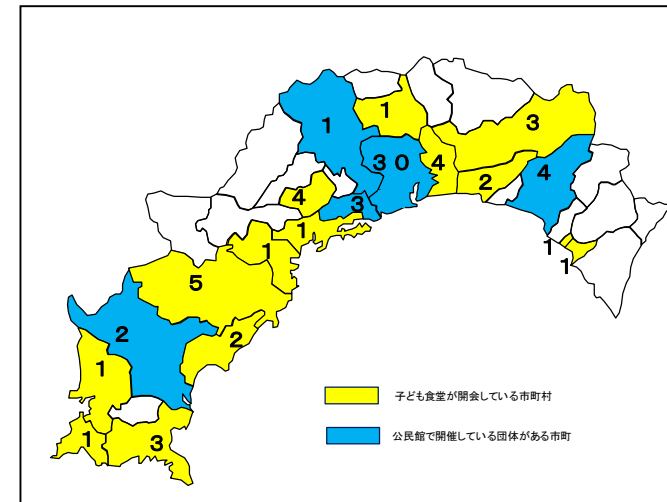
現状と課題

- 社会教育指導員(27名 9/34市町村)
- 社会教育主事(26名 13/34市町村、発令 2町2名)
 - ⇒ 社会教育のための予算の確保、事業化が十分にできていない可能性がある

4) 社会教育に関連する新たな取組

① 子ども食堂(平成29年度より補助金制度開始)

食事の提供を通じて、子どもや保護者の居場所となる「子ども食堂」の取組が県内各地で広がりつつある。
 子ども食堂の開設数:10市9町村 58団体70箇所
 高知家の子ども食堂の登録数:37団体44箇所(うち定期開催は42箇所)(平成31年4月30日現在)
 公民館・集会所での開催:43箇所中9箇所(平成31年4月10日現在)
 高知県子ども食堂支援基金への寄付額(H29~30年度):90件約910万円(平成31年2月28日現在)



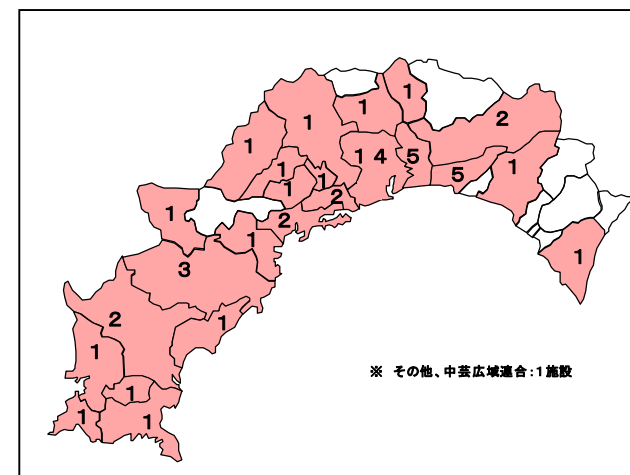
高知家子ども食堂登録制度に登録してある団体の内、社会教育施設が開催場所となっている施設

条例公民館:布師田ふれあいセンター(高知市)
 高知市大津ふれあいセンター(高知市)
 戸波総合市民センター(土佐市)
 中央公民館(四万十市)

自治公民館・集会所:小ト子公民館(高知市)
 石淵公民館(高知市)
 弥右衛門ふれあいセンター(高知市)

② 子育て支援センター(平成19年度 地域子育て支援拠点事業として開始)

就学前の乳幼児と保護者を対象とした相談対応や子育て講座等の開催。



実施主体:各市町村

子育て支援センターの設置状況:25市町村51施設に中芸広域連合の1施設を加えた52施設で実施。地域子育て支援拠点事業として平成5年に保育所地域子育てモデル事業が創設され、平成19年に地域子育て支援拠点事業創設された。

※県内では、平成5年4月1日に開設された「安芸市地域子育て支援センター」が最初。

③ 子育てサークル(平成24年から登録制度開始)

子育て家庭が気軽に集い、交流することのできるネットワークづくりを目的としている。

登録状況:10市町59団体(高知市39、土佐市2、四万十市3、香南市3、香美市4、いの町1、南国市4、安芸市1、宿毛市1、田野町1) ※かつては佐川町、須崎市においてもそれぞれ1団体の登録があった。

サークルのタイプは育児もしくは子育て支援、或いはその両方を網羅した3つに分類される。(育児22、子育て支援28、育児/子育て支援9)

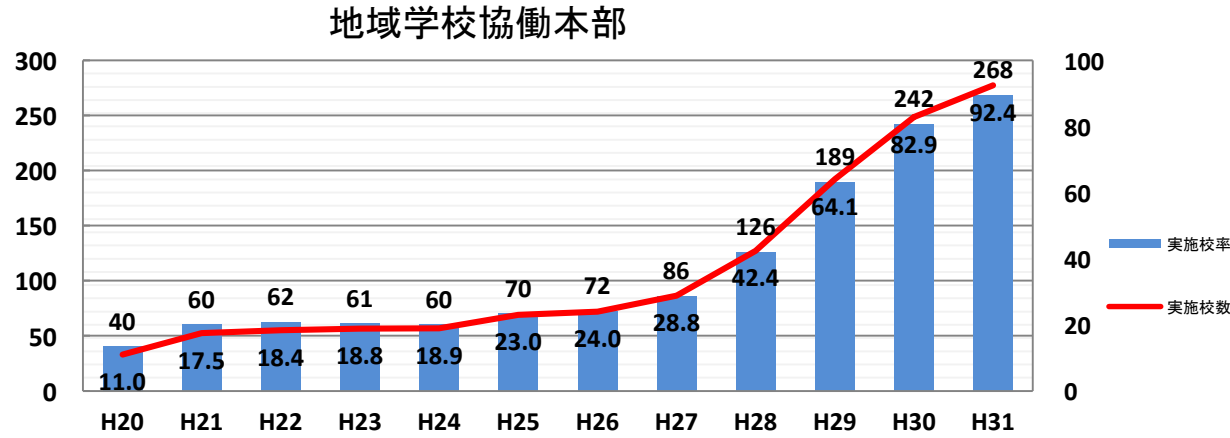
課題

- ⇒ 地域により偏りがある

④地域学校協働本部(平成20年より学校支援地域本部事業として開始)

地域と学校が連携・協働して子どもたちを支えていく体制

実施校数: 268/290校、実施校率: 92.4%、実施本部数: 177、
実施市町村: 34市町村(平成30年度末現在)



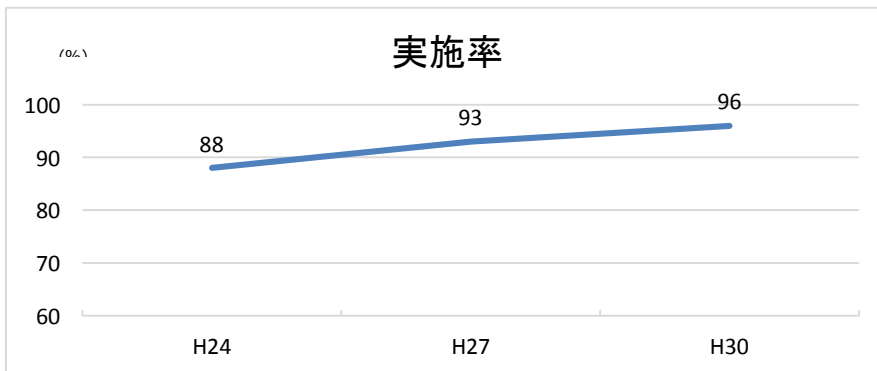
現状

- 平成28年度に教育大綱及び第2期高知県教育振興基本計画に定めたことにより全市町村で実施している。
- 見守り機能を強化した「高知県版地域学校協働本部」の設置を推進している。(H29-H30実績: 22.6%)

⑤新・放課後子ども総合プラン(平成19年より開始)

すべての児童が放課後を安心・安全に過ごし、多様な体験・活動ができるようにするための事業

児童クラブ又は子ども教室実施校: 184/192校、実施率: 95.8%、
33市町村で実施(平成30年10月16日現在)



放課後児童クラブ
対象: 共働き家庭の児童(概ね小1~3年生)
指導員: 放課後児童指導員(専任)を配置
備考: 原則年間250日以上開所

放課後子ども教室
対象: すべての子ども
指導員: 地域の大人、退職教員等を安全管理員、
学習アドバイザーとして配置
備考: 概ね年間を通じて断続的・単発的に実施

現状

- 小学校の95%に設置され、安心・安全な居場所として様々な活動が行われている。

課題

⇒ 設置率はどちらも9割以上であるが、市町村や学校によって活動内容に差があり、活動の内容(質)を高めることが必要。

【参考】

